

## 瞑想的世界認識と宗教研究

•瞑想から得られる知はどのような性格をもつか。単純な是認でなく、実践者の立場性の反省を踏まえつつ、その可能性と限界を問いたい

- 瞑想とは？神秘的な体験を介して「あらたな認識」を獲得することか、既存の知に別の視点から再会することか？
- 体験する者のしない者に対する無条件の優位性を強調する立場はとれない
  - 宗教研究における重要な伝統／素朴な体験主義の危険
- テキストの解釈と注釈に専念する伝統の一方で、宗教的な瞑想実践が、それと隔てられたまま存在する。どう架橋？
- デタッチメントを客観性の担保とする素朴な実証主義→ごもつともだが、それをいったん置いて考えてみたい。

パネル：瞑想的世界認識と宗教研究

## 瞑想的世界認識と宗教研究

•主旨 5分

•発表 各15分

- 井上ウイマラ MBSRにおけるスピリチュアリティのあり方
- 村川治彦 F・バレーラが開いた瞑想と認知科学の出会い
- 葛西賢太 井筒俊彦の瞑想体験と東西思想の比較研究
- 伊藤雅之 玉城康四郎の仏教学と現代スピリチュアリティ研究

•コメント(鶴岡賀雄) 個別質疑

~全体討議 55分 司会:鶴岡賀雄

パネル：瞑想的世界認識と宗教研究